

2014.11月

品質月報

Monthly Quality Report

11月号 INDEX

11月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「INNOVATION(技術革新)」

PAGE 5 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 8 ……品質状況詳細

『SSD部門機能強化・勉強会』開催



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

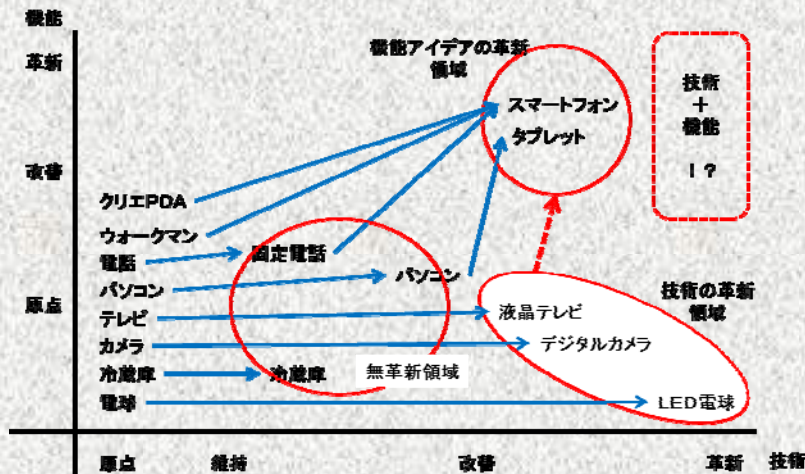
平成26年10月1日
サンシングループ
代表

石井 宏宗



今月のトピックス

「INNOVATION(技術革新)」



上図：家電製品カテゴリーにおける革新と機能展開＝20年前と現在(赤の円の中)
 水平軸＝革新性 右の方ほど革新性の高い変化(技術革新やアイデア革新)
 垂直軸＝機能展開 上方向移動ほど、新機能、機能向上、機能集約が進んだ家電製品

カメラのデジタル化、これでフィルムのコダックは傾き、フジフィルムは、化粧品まで始める変化対応をすることとなった。

(フジフィルムは、技術革新+アイデア革新=ビジネスモデルイノベーションで成功)

液晶テレビも、どの程度大きな革新かはあがるが、薄型+省電力+高精細など一家に1台が一人に1台の社会となった。

次に来るものは たとえば 乾電池 → 長寿命+大容量バッテリー などであろうか。

そこで、革新と機能という観点で、家電製品カテゴリーの20年(1995ごろ)を考えてみた。

解かることは、20年たって 家電製品の進歩が3つの分類に分けられること。すなわち

- 1) 技術革新で成功させた家電製品群(図 右下 技術革新の領域)
- 2) アイデア、機能展開の革新で成功してきた家電製品群 (図 右上 アイデア革新の領域)
- 3) 多少の変化はあるが、ほとんど使い方も技術も変化のない家電製品群 (図 中央下)

あえて パソコンは、あまり変わっていない家電製品群に入れさせて頂いた。

もちろんCPUスピードやメモリー容量など大きくはなっているが、形状も使い方も、私が1990年に使っていた東芝のダイナブック(薄型軽量)と変わらない。

パソコンが変わったのではなく=パソコン自体の技術革新というよりは、通信環境(インターネット)やフェイスブックなどツールが変化したのである。

多くの「技術革新」は、日本企業が主導したといえるのであろう。デジタルカメラなどは、家電製品x技術革新の筆頭格である。もっとも、液晶テレビのように、せっかく技術革新で優位にありながら経営戦略の観点で早々と韓国に追い抜かれてしまった製品群があるのは残念だ。更に言えば、3Dは大きくこけてしまった感があるし、4K(超高精細という技術革新)はどうなるか？

一方で「アイデア革新領域」勝負は、技術革新以上にもっと残念だ。たとえば、スマホは、ウォークマンとガラ系携帯とゲーム機とPDA(一時期流行したソニーのクリエ)を足したような家電製品である。アイデアの要素は、日本にあり、日本企業は、その中心にいたわけである。どうして アイデアのビジネス化=イノベーション精神が実らなかったのか？

さて、最後に、これからの期待は、「いままでほとんど変化しなかった家電製品領域の革新である」と考えたい。HEMSや自動車と家電製品の連携など、インフラの変革を絡めたところで、白物家電製品(ほとんど変化していない)の革新領域となる。単なる技術革新でなく、

「技術革新+インフラ革新+アイデア=ビジネスモデル革新」の複合が必須だ。

生活に一番近い部分であり、高齢化社会+女性の社会進出にあわせて、家電製品がその概念枠を超越して、普段の生活の安全、安心、便利につながってもらいたいものである。

今月の品質状況

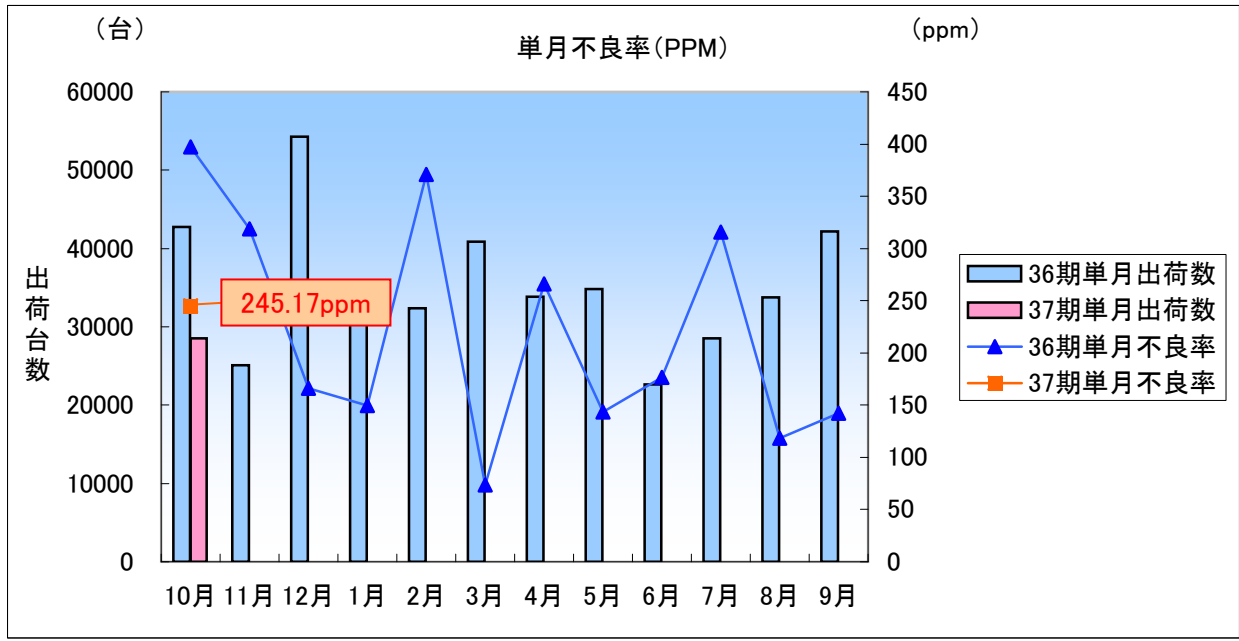
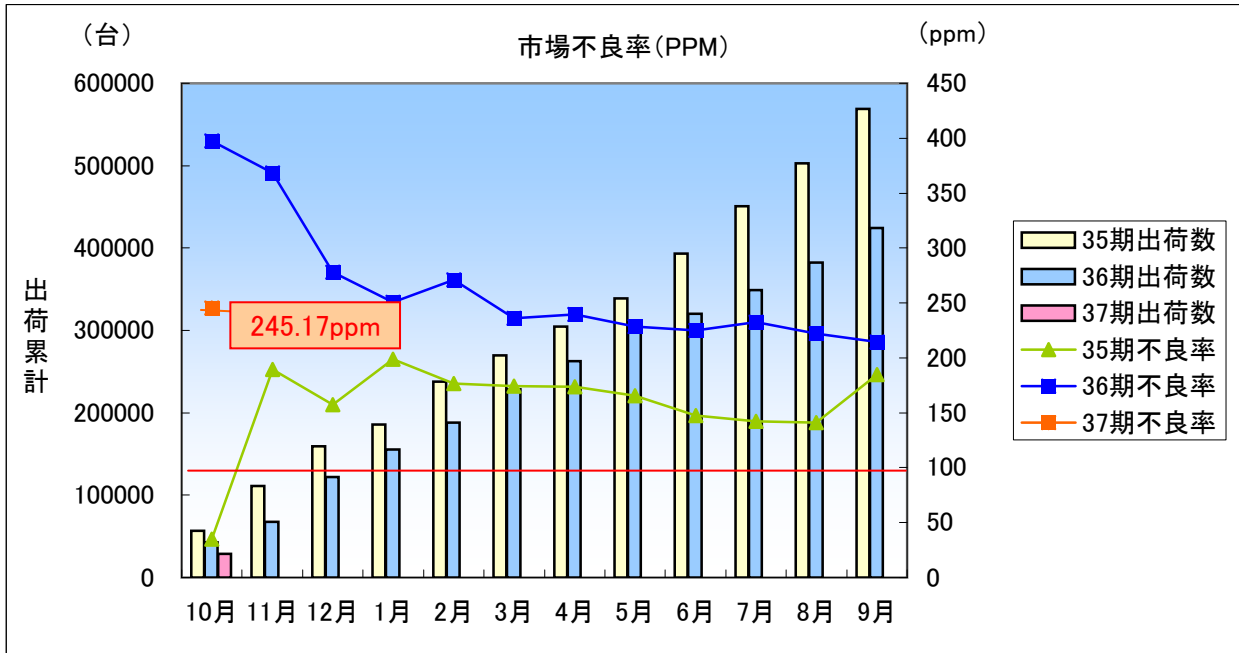
37期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

37期の累計不良率は**245.17ppm**です。

市場不良累計は 7件 (その他 MOSFET 42件)

37期の出足はあまりよくありませんでしたが、諦めず目標100ppmを目指して行きます。



10月の単月不良発生率は7件発生で 245.17ppm です。

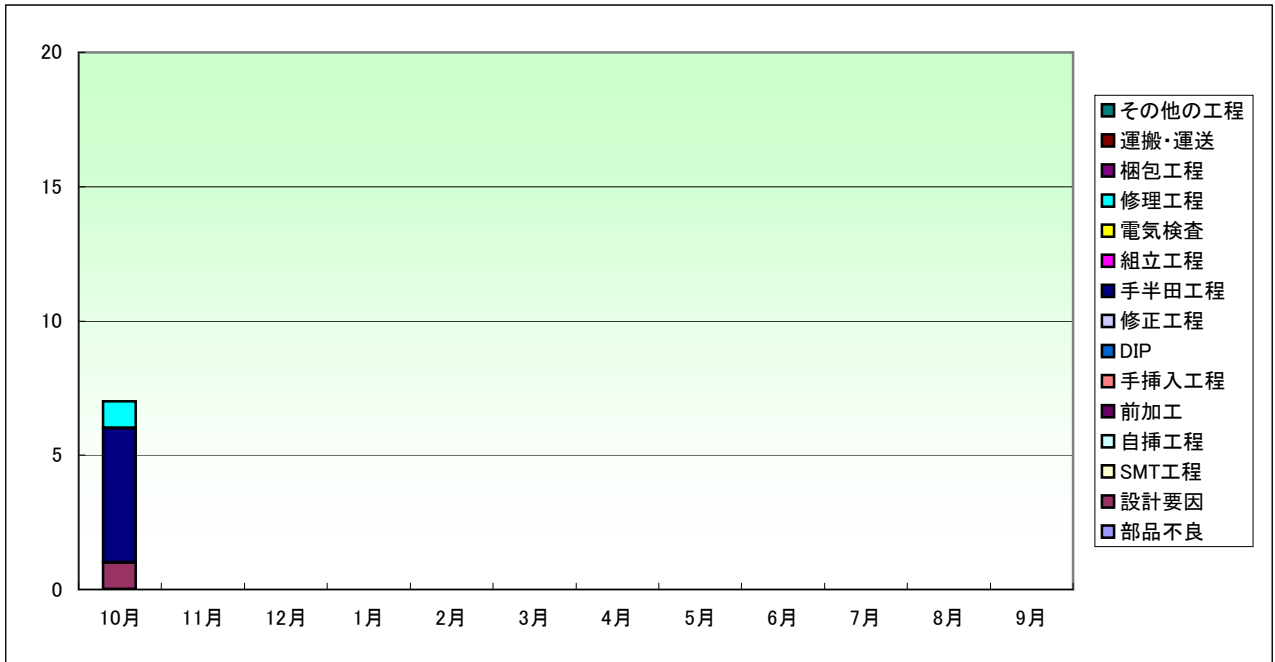
製造不良 6件、設計不良 1件

製造不良が多く発生しましたが、きっちり対策を打って再発防止して行きましょう。

品質状況詳細

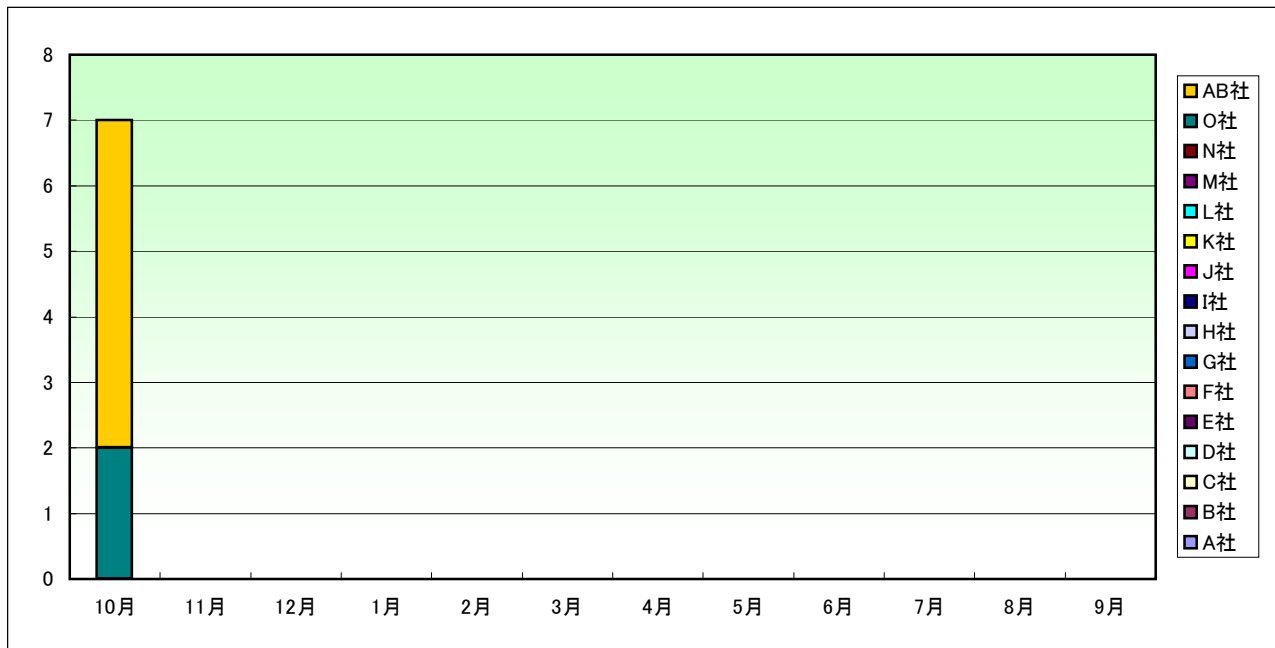
原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



10月までの工程別不具合
 設計要因 1件、手半田工程 5件、修理(リワーク)工程 1件
 「手半田付け」についての対策が重点項目です。

客先別不具合



客先別累計不良発生率
 AB社 5件/160台 (31250ppm)
 O社 2件/3,975台 (503ppm)

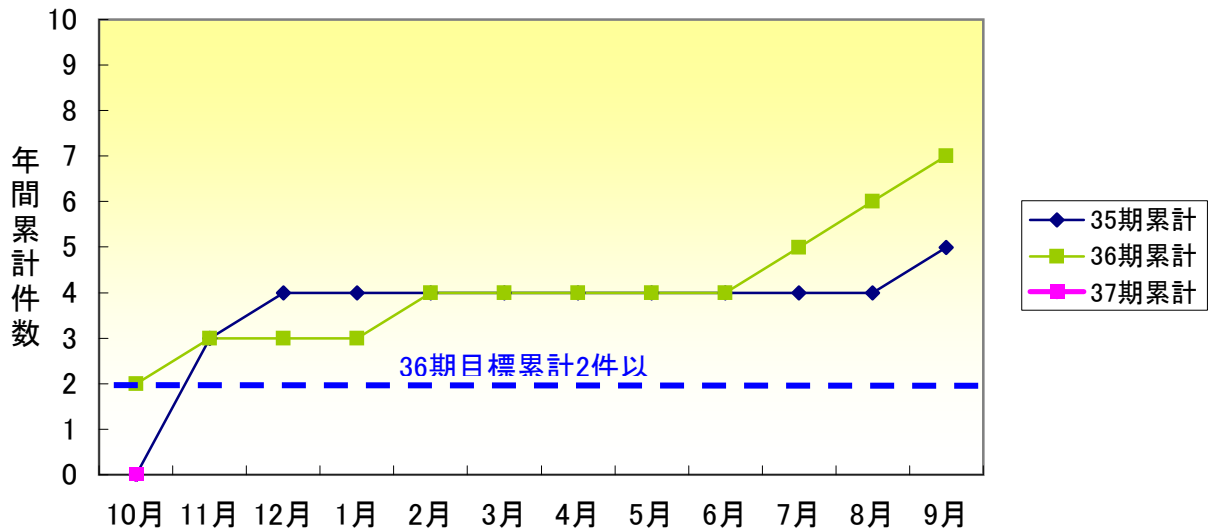
品質状況詳細

クレーム発生状況

クレーム発生推移

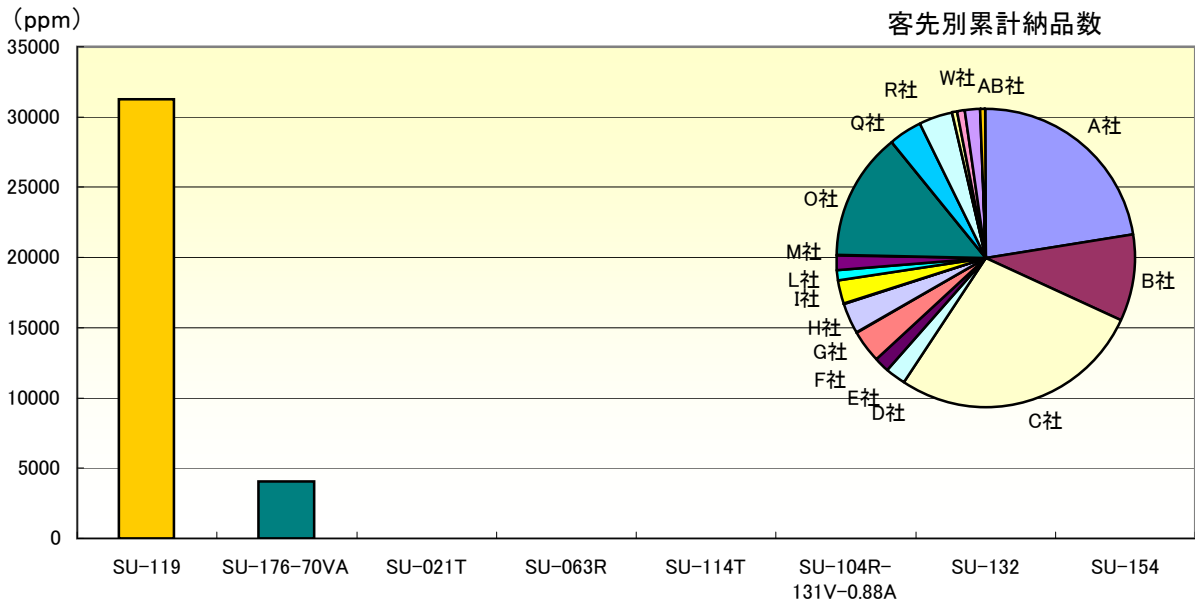
「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移(37期)



クレーム不良合計0件。
10月クレーム不良0件。
ただし、次月にクレームに発展する可能性あり。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(不良率ワースト5)

機種	客先	不良数/納品数	単機種不良率
① SU-119	(AB社)	5件/160台	31250ppm
② SU-176-70VA	(O社)	2件/3,975台	503ppm
③ -	(-社)	-件/-台	- ppm
④ -	(-社)	-件/-台	- ppm
⑤ -	(-社)	-件/-台	- ppm

『SSD部門機能強化・勉強会』開催

(先月号からの続き)

SANSHIN大学主催で、不具合再発防止への取組みの一環として TECHNOLOGY PJT Technical Advisor 金井 千明氏を講師に 9月25日下記テーマと内容で開講しました。

<テーマ>

1. 「記憶と思考について」
2. 「頭の中には、何を取り込んでいるの？」
3. 「思考と行動」
4. 「ストレスに冷静に対処する方法～ことわざを学ぼう！」

「3」仕事の命題と、結果には、組合せがある

生き死に問題というのがある。

- ・生きていたいから生きている
- ・死にたくないから生きている
- ・死にたいから死ぬ
- ・生きたくないから死ぬ

すなわち、自分の思いと結果は常に組合せが存在する。

仕事で、上司から、〇〇〇〇をやってください と言われた。

そこで、4タイプ

- ・イエス と言って その通りやって成果を出す人
 - ・イエス と言って その通りやったが成果が出せない人
 - ・ノー と言って 成果を出さない人
 - ・ノー と言いつつ 別な方法を考えて同等(或いはそれ以上)の結果を出す人
- 良い、悪い は別として、人間はいろいろなリアクション・パターンがあることを認識しましょう。

「4」仕事のストレス解消と自分を客観的に見るための間合いを取るために『変形ことわざ』を作って遊びます。

仕事のいろいろなシーンで目にすることを、ことわざを変形させて楽しむと結構、リラックスできるものです。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| (1)石橋を叩いて渡る | (2)棚から牡丹餅 |
| ・石橋を叩いてばかりじゃ渡れない | 棚からカナヅチ 大怪我するぞ！ |
| ・石橋を叩いて壊す | |
| ・石橋は一切無視して泳いで渡る | (3)猫に小判 |
| ・石橋の隣に造る丸太橋 | 余計なことはしないで良いが |
| | でも、ネコにご飯はあたりまえ |
| | やるべきことは、「ちゃんと やる！」が基本です。 |

- (4)転ばぬ先の杖
杖の材質は選びましょう！ 枯れ枝ではリスク対策になりません。
カーボンファイバ製 か アルミ合金製 がベストでしょうね

- (5)溺れる者は藁をもつかむ
パニック状況下で気持ちは判るけど、つかむときは気をつけましょう
間違っても、カツオノエボシ や ホオジロザメ をつかまないように！

などなど、皆さんも、いろいろと、自分流を考えてみては如何でしょうか？

『SSG技術発表会』は今後も適時開催される予定です。